

第1号議案

令和3年度事業報告

1 理事会（書面開催）

令和3年8月19日付け書面にて理事会を開催し、令和2年度事業報告及び収入支出決算、並びに令和3年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について審議を行い、令和3年9月7日付けで原案のとおり承認した。

2 要望活動

(1) 要望内容（利便性向上・ダイヤ改正等）のとりまとめ

各市町村、鉄道関係団体、高等学校等に照会のうえ要望事項のとりまとめを行った。

(2) 主な要望項目

- ・ 奥羽新幹線を見据えた福島～米沢間のトンネル整備
- ・ 山形新幹線の速達性向上及び安定輸送の確保
- ・ 羽越本線の速達性向上及び安定輸送の確保等
- ・ ダイヤ改善等による輸送力の強化・利便性の向上
- ・ 安全・安定輸送に対する取組みの推進

(3) 要望日程

国土交通省、JR東日本に対して要望等を行った。

- ・ 令和3年12月14日 JR東日本 新潟支社
- ・ 令和4年3月7日 JR東日本 山形支店
- ・ 令和4年3月22日 国土交通省鉄道局幹線鉄道課（郵送）
- ・ 令和4年3月23日 JR東日本 本社（郵送）
- ・ 令和4年3月28日 JR東日本 仙台支社



R3.12.14 JR東日本新潟支社要望



R4.3.7 JR東日本山形支店要望



R4.3.28 JR東日本仙台支社要望

3 情報収集活動

JR東日本の本社、仙台支社、新潟支社、山形支店等と随時打合せを行い、情報収集に努めた。

4 JR東日本と連携した鉄道利用の新たな需要創出・拡大につながる特別事業 コロナ禍で落ち込んだ山形新幹線等の利用回復・新規需要創出のため、以下の事業を展開した。

○ やまがたワーケーション新幹線の企画・運行

- ・ 令和3年12月3日、「とれいゆつばさ」を活用した「やまがたワーケーション新幹線」を企画し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、上野駅発、米沢駅～新庄駅着で運行した。一編成丸々「ワーケーション新幹線」は初めての取組となり、87名が乗車した。当日は、列車内からのオンラインセミナーも開催するなど、県内のコワーキングスペースと連携した取組を展開した。

○ 山形新幹線等を使用した荷物輸送の事業化に向けた実証

- ・ (令和3年6月17日) さくらんぼ (山形駅⇒東京駅)
- ・ (令和3年10月1日) 最上小国川の鮎 (新庄駅⇒上野駅)
- ・ (令和3年10月8日) 庄内北前ガニ (酒田駅(陸羽西線)⇒新庄駅⇒上野駅)
- ・ (令和3年11月27日) 置賜3市5町「秋の味覚セット」(米沢駅⇒上野駅)
- ・ (令和4年3月25日) 置賜3市5町「精密機械部品」(米沢駅⇒東京駅) (※)
※3月16日に発生した地震により、5月26日に延期。

5 広報活動等

(1) 接続時刻表の作成・周知

- ・ 令和4年3月のダイヤ改正に合わせ、「山形新幹線 接続時刻表」並びに「仙山線～仙台空港アクセス鉄道 接続時刻表」を作成して県ホームページに掲載し、利用拡大に努めた。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 列車通学をしている生徒向けの列車内での感染予防を呼び掛ける啓発ポスターを奥羽本線及び左沢線において約半年間掲出した。

(3) 地域連携ICカード「cherica」の周知

- ・ 令和4年5月14日に開始された地域連携ICカード「cherica」について駅等での周知のため、ポスター、チラシを作成した。

6 活動の成果

(1) 米沢トンネル(仮称)整備の早期事業化、奥羽・羽越新幹線の早期実現

○ 米沢トンネル(仮称)整備の事業化に向けたJR東日本との共同調査

- ・ 令和3年3月、JR東日本から事業化に向けた具体的なルート、とりわけ時速200km以上のフル規格スピードでの走行が可能なルートの検討に向けて、より詳細な調査を県と共同で実施したい旨の提案があった。

- ・ これを受け、県でもトンネルの早期実現及びその先にある奥羽新幹線構想を着実に前に進めるため、この提案を受け入れ、調査費用の一部を負担することとして、令和3年9月補正で債務負担行為を設定し、令和4年度当初予算に調査費（1,958万円）を計上した。

○ 政府の令和4年度予算における調査費の計上（継続）

- ・ 政府の令和4年度予算において、奥羽・羽越新幹線をはじめとする基本計画路線を含む全国的な幹線鉄道ネットワーク等のあり方の検討に必要なとなる、幹線鉄道ネットワークの現況や整備手法等についての調査費が引き続き計上された。

(2) 羽越・奥羽新幹線関係6県合同プロジェクトチームにおける検討・調査結果の報告

- ・ 両新幹線沿線の関係6県からなる「羽越・奥羽新幹線関係6県合同プロジェクトチーム」（H29.8 設立）において、両新幹線の費用対効果や地域ビジョン等の調査・検討を実施し、令和3年6月21日に調査結果を公表した。費用対効果（B/C）は、効率的な整備手法（盛土、単線整備等）も検討し、奥羽・羽越とも1を超える結果になった。

奥羽新幹線	0.50～1.13
羽越新幹線	0.53～1.21
同時整備	0.47～1.08

(3) 県内各路線の利用拡大

○ 企画列車の運行による魅力向上と利用拡大

- ・ のってたのしい列車「とれいゆつばさ」・「海里」が運行された。
- ・ 鉄道開業150年を記念して、鉄道開業当時の客車をイメージしたレトロラッピングを施した「快速湯けむり号」（仙台駅～新庄駅間）が運行された。

○ 地域・企業等と連携した利用拡大

- ・ 旅行介助士が添乗した年齢や障害の有無にかかわらず旅行を楽しむ「ユニバーサル新幹線」が令和3年10月13・20・27日に企画運行された。
- ・ 置賜地域奥羽新幹線整備・米沢－福島間トンネル整備実現同盟会（置賜地域3市5町）と連携して、以下の荷物輸送を行った。【再掲】
（令和3年11月27日）秋の味覚セット（米沢駅⇒上野駅）
（令和4年3月25日）精密機械部品（米沢駅⇒東京駅）（※）
※3月16日に発生した地震により、5月26日に延期。